



2020年2月12日

各 位

三重県四日市市日永二丁目3番3号
会社名 アップルインターナショナル株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 久保 和喜
(コード番号: 2788 東証二部)
問合せ先 管理本部長 清水 茂記
TEL (059) 347-3515

2019年12月期通期業績予想の修正及び 剰余金の配当に関するお知らせ

2019年2月15日に公表しました「2019年12月期通期業績予想」を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、本日開催の当社取締役会におきまして、下記の通り2019年12月31日を基準日とする剰余金の配当を決議いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

2019年12月期連結累計期間(2019年1月1日~2019年12月31日)業績予想数値の修正

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,406	342	409	324	23.48
今回修正予想(B)	17,648	164	287	158	11.42
増減額(B-A)	242	△177	△121	△166	—
増減率(%)	1.4	△52.0	△29.8	△51.2	—
※(ご参考)前期連結実績 (2018年12月期)	18,610	493	1,038	981	70.88

2. 修正の理由

2019年12月期連結累計期間において、海外中古車輸出販売事業セグメントは当初予定していた売上高から330百万円上回る9,722百万円(予算比104%増)、売上総利益額についても予算から24百万円上回る694百万円(予算比103%)を計上する見込みとなります。

国内事業セグメントにおいては、増税前の駆け込み需要が伸び悩みましたが、当初予定しておりました売上高から17百万円(予算比100%)上回る7,812百万円を計上する予定です。しかしながら価格競争の激化により利益率の低下につながったことから、売上総利益額は、当初予想していた予算より181百万円(予算比12%減)下回る1,313百万円計上する見込みです。よって、連結累計期間における売上高総利益額は、予定しておりました2,209百万円から182百万円下回る2,026百万円(予算比8%減)を計上し、販売費及び一般管理費において、貸倒引当金繰入額が45百万円、営業外収益において貸倒引当金戻入益を19百万円計上する見込みです。

これらの要因から、通期連結累計期間の業績予想の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については前回発表予想を下回る見込みとなりました。

また、2019年12月期決算短信につきましては2月14日を開示予定としております。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる場合がございます。

3. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2019年2月15日公表)	前期実績 (2018年12月期)
基 準 日	2019年12月31日	同左	2018年12月31日
1株当たり配当金	2円00銭	5円00銭	5円00銭
配当金の総額	27百万円	69百万円	69百万円
効力発生日	2020年3月30日	—	2019年3月25日
配当原資	利益剰余金	利益剰余金	利益剰余金

4. 理由

当社は、経営基盤の強化を図りながら、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識しております。安定的な配当の継続・維持に留意するとともに、事業計画、財政状態、各期の業績、株主資本利益率及び配当性向等を総合的に勘案した上、利益還元に努めることを基本方針としております。

当期業績につきまして、前回発表の業績予想を下回り減益となったため、業績、株主資本利益率及び配当性向等を総合的に勘案した結果、期末配当につきましては、1株当たり2円とさせていただきます。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
配当予想		5円00銭	5円00銭
当期実績(2019年12月期)	0円00銭	2円00銭	2円00銭
前期実績(2018年12月期)	0円00銭	5円00銭	5円00銭

以上